

日本アロマセラピー学会誌 投稿規定

1. 投稿は原則として、日本アロマセラピー学会会員に限る。会員外の投稿については、編集委員会にて決定する。
2. 原稿は未発表のものに限る。
3. 患者情報の記載が含まれる論文については、患者のプライバシーに十分配慮し、インフォームドコンセントを得た上で、投稿すること。可及的、所属機関の倫理委員会の審査が望ましいが、所属機関に倫理委員会の設置がない場合には、必ず本学会の倫理委員会の審査を受審することが必要である。同時にCOIを明示する事が必須である。
4. 投稿規定の種類は次の通りにする。
 - 1) 総説：ひとつのテーマに関連する多くの研究論文の総括、評価、解説。
 - 2) 原著、解説論文：研究結果、研究方法、研究材料、自他の研究成績の解釈等において新知見、または創意が含まれているもの、およびこれに準ずるもの。
 - 3) 症例報告、実践報告：アロマセラピーに関連して興味深い症例などの報告。
 - 4) トピックス：アロマセラピーに関連する話題の紹介、海外論文紹介。
 - 5) 資料、提言：アロマセラピーに関する知識などの普及に貢献するもの。なお、これらの原稿については執筆を編集委員会より、依頼することができるものとする。
5. 投稿原稿の採否は査読後、編集委員会にて決定する。なお依頼原稿はこの限りではない。
6. 編集委員会で修正箇所を指摘され、訂正後に再投稿する場合は、6ヶ月以内に再投稿すること。再投稿した原稿は、再度編集委員会にて審査する。
7. 原稿が受理された場合は、原稿や図・表を入力した電子媒体を送付すること。
8. 本誌に掲載された巻頭言、総説、原著論文、症例報告などの要旨は本学会のホームページに掲載されることがある。本誌に掲載された原稿の著作権（複写権、複製権、転載権、翻訳権、翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権などを含む）は学会に帰属する。但しこれは著者個人の権利を制限するものではない。
9. 校正は原則として初校のみ著者校正とする。
10. 原稿の様式は付記1に定める。
11. 掲載料、別刷り代金については付記2に定める。
12. 倫理について
人体に関する報告では方法や手順が少なくともヘルシンキ宣言（ヒトを対象とする医学研究の倫理的原則、2000年修正）に従っていることを要し、人体に対する報告では患者名、イニシャル、カルテ番号などは用いてはならない。精油を臨床や看護に使用する際は、それぞれの施設での倫理委員会や倫理規定を遵守し、対象者の同意書を得ることが必要である。また論文にはこの文面で同意を得たことを記載する。
13. 統計処理について
統計処理の方法は常に記さなければならない。即ち結果の意義、信頼区間を適当な方法で記載する。統計結果を単にP値（危険率）のみで示すだけでは、重要な情報を見落とす危険があるので注意する。また実験の厳密性、無作為化、二重盲検、実験回数、実験のloss, drop outについても記載する。コンピューター処理ではプログラム名を示す必要がある。
14. 科学研究費などの公的および私的助成金を受けた場合、その名称・出所を本文の最後に全て記載すること。
15. 原稿の送付先は以下の通りにする。

一般社団法人日本アロマセラピー学会 事務局
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-11-15 6F
電話:03-3238-1689 FAX:03-3238-1837
株式会社クバプロ内

(対応日時:平日10:00~16:00 土曜日, 日曜日, 祝日を除く)

E-mail: info@aroma-jsa.jp URL: http://www.aroma-jsa.jp

付記 1. 原稿執筆要領

1. 本学会誌の原稿は, 原則として, 本文および図, 表のタイトルはすべて和文とする。
2. 本学会誌の原稿は, ワードプロを使用し, Wordなど一般的なソフトを用いて作成する。
3. 原稿は原則として, 横書き, 仮名遣い, 楷書にて作成する。A4用紙に1行44文字、ダブルスペースにて記載する(英文にて原稿を作成する場合は, A4タイプ用紙にダブルスペース, 25行)
4. 単位には国際単位(m. cm. mm. kg. g. mg. m. %. など)を用い, その数字はアラビア数字とする。
5. 商品名には右肩付けでTM を付ける(例: ●×▲ TM)。
6. 引用文献は引用順に番号を付け, 本文中には右肩付けで表し, 引用順に文献の項に記す。文献の著者が3名以内の場合は全員の名を記載し, 4名以上の場合には1名のみ記載し, その他の共同著者名は, ほか(英文ではet al.)として略す。文献名を略す場合は, 医学中央雑誌, Index Medicus に従って略記する。文献記載は, 論文の場合は, 著者名:表題. 雑誌名. 巻(号):ページ. 年. 単行本の場合は, 著者名:項目名. 書名. 編者名. 記載ページ(始めにpを付ける). 発行所. 発行所の所在地. 発行年の順に記載する。

例:

- 1) 宮原英二:妊娠中minor trouble(不規則な子宮収縮)に対する*Lavandula angustifolia*の使用の試み. 日本アロマ学誌, 1:33-38, 2002.
- 2) 今西二郎ほか:学会員のアロマセラピーに関するアンケート調査結果. 日本アロマ学誌, 1:39-54, 2002.
- 3) Kouda M et al.: Bioluminescent Assay as a Potential Method of Rapid Susceptibility Testing. Microbiol. Immunol., 29:309-315, 1985.
- 4) Shioda S, Waschek JA. 2002 VIP & PACAP Receptors. In: Structure and Function of GPCRs in the Nervous System. Chapter 26 pp.530-550, Oxford University Press.

◎ 原 著

1. 表紙(表題・著者名・所属とその住所):邦文および英文 検索用語(Keyword)を5語以内
ランニングタイトル:20字以内 原稿量:12000文字以内(図表は1枚当たり400字に換算)
を目安とする。
所属:所属は原則として職籍のある勤務先名(職籍のない場合は看護師などの資格名でも良い)とし, 学生や大学院生, 研究生などが在籍校の名前を使う場合には指導教員の「学校名使用承諾書」などを提出すること。但し指導教員が共著者である場合はこの限りではない。(以下全ての分野に共通)
2. 本文は「要旨(邦文は500字以内, 英文は500word以内の双方を記すること)」、「緒言」, 「対象(材料)と方法」, 「結果」, 「考察」, 「結論(結語)」, 「文献」, 「図表」の順序とする。

◎ 症例報告

1. 表紙(表題・著者名・所属とその住所):邦文および英文 検索用語(Keyword)を3語以内
ランニングタイトル:20字以内 原稿量:8000文字以内(図表は1枚当たり400字に換算)

を目安とする。

2. 本文は、「要旨（邦文は500字以内，英文は500 word 以内の双方を記すること）」，「緒言」，「症例」，「考察」，「文献」，「図表」の順序とする。

◎ 資 料

1. 表紙（表題・著者名・所属とその住所）：邦文および英文 検索用語（Key Word）を3語以内
ランニングタイトル：20字以内 原稿量：8000文字以内（図表は1枚当たり400字に換算）を目安とする。
2. 本文のスタイルは特に指定しない。要旨は邦文，英文ともに不要。

◎ 論文紹介・書評

1. 表紙は不要
2. 「題名」，「投稿者名」，「所属とその住所」，「本文（スタイルは特に定めない）」の順序とする。検索用語とランニングタイトルは不要。
3. 原稿量：題名，投稿者名，所属とその住所を含めて800字以内を目安。
4. 図表の使用は原則として認めない。

付記 2. 掲載料及び別刷り料金

◎ 原著・総説・症例報告

掲載料は無料。別刷は、全て著者による実費負担とする。

付記 3. E-mail による投稿

投稿は全てE-mailによる投稿とする。なお、図表などデータが重く添付ファイルで送れない場合にはファイル便など他のツールでの送付をしてもよい。

1. 本文がWindows を使用し，Microsoft Office Word で入力されている本文のPDF化は不要。
2. 図表はWindows を使用し，Microsoft Office Excel またはPowerPoint にて作製されている（PDF でも可）。
3. 投稿承諾書が別便にて郵送またはFAX されるか，PDF にて提出される（E-mail による投稿では投稿承諾書が編集委員会に届いた日を受付日とする。論文のみが届き，投稿承諾書が届かない場合は受付したことにはならないので注意）。
4. 書式その他の執筆形態は全て日本アロマセラピー学会誌投稿規定の原稿執筆要領に従っている。
5. E-mail による原稿の送付先は以下の通りとする。

info@aroma-jsa.jp

（日本アロマセラピー学会本部事務局内 学会誌編集委員会）
